

令和 3年 3月 22日

二宮町長
村田 邦子 様

二宮町政策評価委員会
委員長 湯川 恵子

二宮町総合戦略評価に係る意見書の提出について

このたび、「二宮町総合戦略」の評価に対し、二宮町政策評価委員会としての意見を「総合戦略評価シート」のとおり、とりまとめました。

また、とりまとめに際し、本委員会において、さまざまな意見交換が行われましたので、「二宮町総合戦略評価について（意見）」として、別添のとおり、提出します。

ご一読のうえ、今後の「二宮町総合戦略」の推進に活用くださいますよう、お願い申し上げます。

二宮町総合戦略評価について（意見）

平成 28 年 3 月に策定した「二宮町総合戦略」に定めた 4 つの基本目標及び 12 本の施策に基づき、町では地方創生に向けた取組を計画的かつ戦略的に推進してきましたが、令和元年度で計画期間の最終年度を迎えました。

12 本の施策については、5 年間の取組の中で成果が認められるものもある一方、いまだ成果が発展途上のものもあります。そこで課題の解決に向け、本委員会の意見を参考に今後の地方創生の推進に役立てていただければと思います。

《 1. 「総合戦略」 12 施策の総合評価 》

二宮町の強みとして委員会でも取り上げられた「災害に強いまち」や「コミュニティ・スクール」といった要素を含む「二宮らしい魅力ある暮らし」に関する施策が広く町内に根付いていることがうかがえました。今後も町民のみなさんが誇れる魅力的な施策を横断的に取り組みつつ継続してください。

一方で、計画及び事業における全体像や将来像といった二宮町のビジョンが見えず、町の意図している目的が正しく町民や地域、団体に伝わりきれていないものが見受けられます。そこで二宮町の方向性や目的といったビジョンの見せ方や伝え方について、改めて検討する必要があります。

事業推進にあたっては、様々な関係者との横断的な連携が必要不可欠であることはいうまでもありません。そのための情報共有や対話が重要ですが、その土台となる「戦略的広報」は欠かせません。良い取り組みを行っていても、その情報が正しく伝わらなければ意味をもちません。有効な広報の手法を再検討したうえで、町内さらには町外に情報発信する取り組みを加速させる必要があります。

以上、町民のニーズに応じた効果的な事業を推進するとともに、町の強みと弱みを見極め、不得意分野は改善しながら、得意分野を強く打ち出し、メリハリを持った施策展開と事業実施の姿勢を求めます。

《 2. 評価システムの改善に関する意見 》

これまでの取り組みを途切れさせることなく、「第 2 期二宮町総合戦略（令和 2 年度～ 4 年度）」につなげるには、進捗管理を行うための評価システムの見直しも重要であるため、外部評価の視点から以下のとおり意見を付します。

1つ目に、評価を判断するための情報が不足しています。現在の評価シートからは、施策の進捗を評価するためのKPIの設定が少なかったり、施策と関連が薄かったりするものが多く見られます。また、各事業の規模や流れ、進捗が読み取れないなどの課題があるため、可能な限り施策にコミットした情報を追加する必要があります。ただし、情報量が膨大になると、見るべきポイントが分かりづらくなるため、情報を精査する必要も同時にあります。

2つ目に、町民に提供される情報としては難解であったり、不足したりしています。町民は、日頃から計画や施策に触れる機会が少ないため、見やすくわかりやすい計画構成であったり、目的や方向性、関連性などが明確な施策・事業の説明であったりと、町の目指す方向性などが広く町民に理解される工夫が求められます。

3つ目に、評価の基準（「地方創生に効果があった」等）にやや課題がみられます。国の総合戦略に基づいた地方版総合戦略であることから、基準を準用していることは理解できますが、特に評価が難しかった点として「地方創生に効果があった」と「地方創生に効果がなかった」の間の評価があげられます。評価者が評価しやすく、町民も理解しやすい基準を再設計するなど、町民への十分な説明責任を果たす指標を構築し、PDCAサイクルとして機能させるべく見直す必要があります。

《 3. おわりに 》

令和元年度末から今日に至るまで、日本だけでなく全世界が新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けました。総合戦略が、少子高齢化・人口減少社会に対応するため、人口の東京一極集中を打開するとともに、地方の産業の振興や少子化対策、コミュニティの強化といった施策を盛り込んだものであることから、プラスにもマイナスにも影響を受けたものと推察されます。

今後も前出の感染症だけでなく、様々な課題に直面することが想定されますが、どのような状況においても、これまでの地方創生の取り組みで得られた成果や課題を十分に分析し、PDCAサイクルによる取捨選択を踏まえた取り組みを継続することをお願いします。そして、二宮町の魅力を生かした持続可能な地域づくりが、町民の理解のもとに形作られることを期待しています。

二宮町総合戦略評価シート（令和元年度実績）

基本目標	安心な暮らしを守り、住み続けられる地域をつくる
施策	公共施設の総合的なマネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり

1次評価（プロジェクト推進担当課長）

プロジェクト			プロジェクト担当課長		企画政策課長		
			該当予算 事業数	良好	適当	不良	/
公共施設の総合的マネジメントプロジェクト							
実施計画事業	01	公有財産管理運営事業	43	16	27		/
	02	教育施設整備事業	1	1			/
	03	コミュニティ・スクール推進事業	1		1		/
	04	道路整備・管理事業	3		3		/
	05	公園整備・管理事業	2		2		/
	06	公共下水道事業	1	1			/
1次評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 見直し（要改善） <input type="checkbox"/> 休止・廃止						
令和元年度の 取り組み	成果 公共施設再配置・町有地有効活用実施計画に基づく取り組みを推進した。 ・新庁舎整備について、説明会や地域意見交換会などを実施した。 ・公共施設予約システムを7月より運用を開始した。 ・地域集会施設の今後の方向性について、9地区の地区役員と協議を行った。						
	課題 ①公共施設再配置・町有地有効活用実施計画に基づき検討を進めているが、施設利用者や地域住民から理解を得ることが難しく苦慮している。 ②新庁舎整備について、様々な手法により、町民理解をさらに得る必要がある。						
	改善点（課題番号に対応）						
	①今後も協議を継続し、事業を推進する。 ②町民ワークショップ、アンケート等の実施により対話を重ね、町民の理解度の向上を図る。						

プロジェクト			プロジェクト担当課長		企画政策課長		
			該当予算 事業数	良好	適当	不良	/
大規模公有地の有効活用プロジェクト							
実施計画事業	01	公有財産管理運営事業	43	16	27		/
	02	東大跡地・国立小児病院跡地の検討	1		1		/
1次評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 見直し（要改善） <input type="checkbox"/> 休止・廃止						
令和元年度の 取り組み	成果 東京大学果樹園跡地活用協議会を中心に、東大跡地の適切な管理運用を行った。 ・活用エリアの管理運営（貸出、ホームページ運用等）を行った。 ・掲示板や物置等を設置し利便性向上を図るほか、DIYやキャンプ等のイベントを行った。 ・活用コンセプトに賛同いただいた企業より、企業版ふるさと納税として寄付を得て、この寄付を活用した環境整備を行うこととなった。						
	課題 ①管理運営組織及び協議会の組織基盤の強化と、町民へのさらなる周知が求められている。						
	改善点（課題番号に対応）						
	①跡地の活用を充実させるため、管理運営における課題を協議会と調整するとともに、情報提供の充実を図る。						

2次評価（施策主管部長）

施策主管部長

政策担当部長

重要業績評価指標 (KPI)について	指標名 公共施設の総延床面積					
	基準値	H28	H29	H30	R1	目標値
	67,824㎡	67,824㎡	67,824㎡	67,135㎡	67,135㎡	67,506㎡以下
	達成状況に関する分析					
	駅前町民会館を廃止したことにより、目標値を達成した。					
	<input type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 目標値の見直し <input type="checkbox"/> 指標の見直し 「目標値の見直し」もしくは「指標の見直し」を選んだ場合の見直し案					
2次評価	公共施設の総合的マネジメントプロジェクト の成果について					
	<input checked="" type="checkbox"/> KPI達成に有効であった			<input type="checkbox"/> KPI達成に有効とは言えない		
	説明					
	二宮町総合戦略に当該プロジェクトを位置付けたことにより、公共施設、学校、公園などの再配置（統廃合）が進んでおり、KPI達成に繋がった。					
	大規模公有地の有効活用プロジェクト の成果について					
	<input type="checkbox"/> KPI達成に有効であった			<input checked="" type="checkbox"/> KPI達成に有効とは言えない		
説明						
施設の総延床面積をKPIとしており、公有地の有効活用と直接的な繋がりは薄いですが、公共施設等の再配置の検討と併せ、町有地の有効活用検討が進んでいる。						
施策： 公共施設の総合的なマネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり の成果について						
<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった			<input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった			
<input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に効果があった			<input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった			

外部評価（二宮町政策評価委員会）

事業効果について	<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった		<input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった	
	<input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に効果があった		<input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった	
意見	施策「公共施設の総合的なマネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり」について、目標達成に向けた進捗は、事業開始前より前進しているが、KPI達成状況などは芳しくないため、施策の一部改善を含め、さらに力強く推進する必要がある。 公共施設の再配置については、町のビジョンが見えず町民に正しく情報が伝わっていないことから、今後、ビジョンの見せ方を工夫したり、町民とともにビジョンを作り上げたりすることで、町民理解を進めることも重要である。新庁舎整備も含め、取組に対する町民理解を得るためには、これまでの手法の有効性を再度確認することが必要である。また、計画推進には、事業に携わる職員の計画的な配置も必要であると考えます。 KPI「公共施設の総延床面積」は、単に削減を議論するのではなく、ニーズや機能も含めて総合的に判断する必要がある。また、施策に設定されたKPIが限定的であるため、進捗を把握するためにも、他のKPIも設定することが望ましい。			

二宮町総合戦略評価シート（令和元年度実績）

基本目標	安心なくらしを守り、住み続けられる地域をつくる
施策	誰もが健康でいきいきと暮らせる環境づくり

1次評価（プロジェクト推進担当課長）

プロジェクト	高齢者がいきいきと暮らせる生活支援プロジェクト	プロジェクト担当課長	高齢介護課長			
		該当予算 事業数	良好	適当	不良	
実施計画事業	01 生活支援サービス推進事業	11		11		
	02 社会福祉関係事業	1	1			
	03 地域福祉支援事業	2	1	1		
	04 高齢者生きがい対策事業	1		1		
	05 地域コミュニティ支援事業	1		1		
	06 一般介護予防事業	2		2		
	07 障がい者地域生活支援事業	3	3			
	08 在宅障がい者支援事業	3	3			
	09 地域医療連携推進事業	2	1	1		
1次評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 見直し（要改善） <input type="checkbox"/> 休止・廃止					

令和元年度の 取り組み	<p>成 果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難行動要援護者の最新情報を横断的に把握できるようになった。 ・認知症ケアパスの更新、にのにかフェの実施により認知症対策を推進した。 ・障がいのある方やそのご家族等のニーズに対応した支援及び経済的負担軽減を実施した。 <p>課 題</p> <p>①認知症は誰もがなりうる身近なものであるという周知 ②医療と介護の連携推進や従事者不足が課題</p> <p>改善点(課題番号に対応)</p> <p>①高齢者や障がい者・その家族が、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる「共存」のための地域での体制構築を検討し進める。 ②毎年、従事者不足については町村会要望として提出。関係機関との連携を継続し、かかりつけ医・薬局の普及を図る。</p>					
----------------	---	--	--	--	--	--

プロジェクト	みんなで健康づくりプロジェクト	プロジェクト担当課長	子育て・健康課長			
		該当予算 事業数	良好	適当	不良	
実施計画事業	01 保健サービス推進事業	4	2	2		
	02 一般介護予防事業	2		2		
	03 スポーツ推進団体支援事業	2		2		
	04 公有財産管理運営事業	43	16	27		
	05 生活支援サービス推進事業	1		1		
1次評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 見直し（要改善） <input type="checkbox"/> 休止・廃止					

令和元年度の 取り組み	成 果
	・ 胃がん検診について、内視鏡での検査を開始 ・ 未病センターや通いの場を利用して、健康相談や健診案内、介護予防について講座や周知を行った。
	課 題
	①がん検診の受診率向上（特に胃、子宮、乳） ②データヘルス計画に基づく重症化予防事業の推進
	改善点(課題番号に対応)
	①受診してもらいたい年代を絞って、個別で受診勧奨を行うなど受診率向上の検討。 ②事業対象者へのアプローチや集団教育の方法を検討していく。

2次評価（施策主管部長）

施策主管部長

健康福祉部長

重要業績評価指標 (KPI)について	指標名 健康寿命（国保データベース）					
	基準値	H28	H29	H30	R1	目標値
	男:65.9歳	男:65.9歳	男:65.9歳	—	—	男：67.0歳
	女:67.1歳	女:67.1歳	女:67.1歳	—	—	女：68.0歳
	達成状況に関する分析					
	<input type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 目標値の見直し <input type="checkbox"/> 指標の見直し					
	「目標値の見直し」もしくは「指標の見直し」を選んだ場合の見直し案					
	指標名 運動習慣がある人の割合					
	基準値	H28	H29	H30	R1	目標値
	39.5%	38.1%	41.1%	43.0%	46.3%	50.0%以上
H28アンケート	H29アンケート	H30アンケート	H31アンケート	R2アンケート		
達成状況に関する分析						
運動習慣のある人の割合は上昇しているが、目標達成までには至らず、今後も継続して取り組みを進める必要がある。						
<input type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 目標値の見直し <input type="checkbox"/> 指標の見直し						
「目標値の見直し」もしくは「指標の見直し」を選んだ場合の見直し案						
2次評価	高齢者がいきいきと暮らせる生活支援プロジェクト の成果について					
	<input checked="" type="checkbox"/> KPI達成に有効であった			<input type="checkbox"/> KPI達成に有効とは言えない		
	説明					
	通いの場や、認知症カフェを開催したほか、地域包括ケアシステムに向けた協議体による話し合いも進めることができた。					
	みんなで健康づくりプロジェクト の成果について					
	<input checked="" type="checkbox"/> KPI達成に有効であった			<input type="checkbox"/> KPI達成に有効とは言えない		
	説明					
	未病センターや通いの場等において、健康相談や介護予防に取り組むことにより、健康づくりを推進した。					
	施策：誰もが健康でいきいきと暮らせる環境づくり の成果について					
	<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった			<input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった		
<input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に効果があった			<input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった			

外部評価（二宮町政策評価委員会）

事業効果について	<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった <input type="checkbox"/> 地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった
意見	<p>施策「誰もが健康でいきいきと暮らせる環境づくり」について、目標達成に向けた進捗は概ね順調ではあるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある。</p> <p>地域の通いの場など高齢者施策において、横断的な連携による取り組みが進んでいることは評価ができる。</p> <p>健康相談や介護予防の場づくりは大切であるため、未病センターや地域の通いの場に参加されないなどの関心が低い方へのアプローチも積極的に進める必要がある。</p> <p>医療従事者不足等、町だけでは簡単に解消できない課題を抱えているが、近隣市町との連携により補い合いながら進めるとともに、高齢者にとどまらず、日常生活に不安を抱える生活弱者が誰一人取り残されないよう、町の規模ならではのきめ細かい支援を届けることが重要である。</p>

二宮町総合戦略評価シート（令和元年度実績）

基本目標	安心なくらしを守り、住み続けられる地域をつくる
施策	地域コミュニティの醸成支援

1次評価（プロジェクト推進担当課長）

プロジェクト		プロジェクト担当課長		地域政策課長			
		該当予算 事業数	良好	適当	不良		
実施計画事業	01 地域コミュニティ再生・活性化プロジェクト	2	2				
	02 公有財産管理運営事業	1		1			
	03 町民活動創出支援事業	1		1			
	04 空家等対策推進事業	1		1			
1次評価		<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 見直し（要改善） <input type="checkbox"/> 休止・廃止					
令和元年度の 取り組み		成 果					
		地区長連絡協議会において、持続可能な地域づくりを目指し、各地区の実情の洗い出しを行い、一覧に取りまとめた。 一色小学校区地域再生協議会において全町的なHPを立ち上げた。					
		課 題					
		①持続可能な地域となるべく、組織や事業のスクラップ&ビルドが必要となる。 ②再生協議会の自立運営に向け、事業の精査が必要となる。また空き家対策部会については、町担当課との連携が求められる。					
		改善点(課題番号に対応)					
①地区長研究会がコロナ禍で現状開催ができていないが、今後議論を進める。 ②新たに拡大部会長会議を組織し、今後の方向性について議論を進める。							

2次評価（施策主管部長）

重要業績評価指標 (KPI)について		施策主管部長			政策担当部長		
		基準値	H28	H29	H30	R1	目標値
		0.19	0.20 H29アンケート	0.13 H30アンケート	0.13 H31アンケート	0.25 R2アンケート	0.50以上
		達成状況に関する分析					
		毎年異なる対象者にアンケートを実施しており、KPIの値の変化を追うことはできないが、目標達成には至っていない。					
		<input type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 目標値の見直し <input type="checkbox"/> 指標の見直し					
		「目標値の見直し」もしくは「指標の見直し」を選んだ場合の見直し案					
2次評価		みんな地域コミュニティ再生・活性化プロジェクトの成果について					
		<input type="checkbox"/> KPI達成に有効であった <input checked="" type="checkbox"/> KPI達成に有効とは言えない					
		説 明					
		KPIが達成（改善）されておらず、有効とは言えない。					
		施策： 地域コミュニティの醸成支援の成果について					
		<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった <input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった					
		<input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった					

外部評価（二宮町政策評価委員会）

事業効果について	<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった <input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった
意見	<p>施策「地域コミュニティの醸成支援」について、目標達成に向けた進捗は、事業開始前より前進しているがKPI達成状況などは芳しくないため、施策の一部改善を含め、さらに力強く推進する必要がある。</p> <p>各地区の実情把握や一色小学校区地域再生協議会の活動など、取り組みが前進していることは評価ができる。</p> <p>今後、各地区の実施結果を踏まえ、優先度や重要度を加味しながら、活用に向け次の段階へと移行していくことが重要である。</p> <p>一色小学校区地域再生協議会の活動の幅は広がっているが、より良い活動につなげるために、今後、地区と行政との横断的な連携を強化する必要がある。また、協議会の取り組みが、地域への関心の高まりや、他の地域・町民の活発な活動へと波及するような展開になることが望ましい。これには広報活動も欠かせないと考えられる。</p> <p>様々な地域コミュニティが形成される中で、地域コミュニティに対する考え方や活動を上手く連携させながら、地域コミュニティの意識醸成を図り、今後の持続可能な地域づくりに取り組まれることを期待する。</p>

二宮町総合戦略評価シート（令和元年度実績）

基本目標	安心なくらしを守り、住み続けられる地域をつくる
施策	災害や犯罪に備える地域づくり

1次評価（プロジェクト推進担当課長）

プロジェクト担当課長

防災安全課長

プロジェクト	地域の力で災害に強いまちづくりプロジェクト	該当予算 事業数	評価			/
			良好	適当	不良	
実施計画事業	01 消防・救急活動事業	10	5	5		/
	02 広域行政推進事業	1	1			/
	03 地域防災支援事業	1		1		/
	04 地域コミュニティ支援事業	1	1			/
	05 学校・地域連携事業	1		1		/
	06 防災・危機管理体制強化事業	3	1	2		/
1次評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 見直し（要改善） <input type="checkbox"/> 休止・廃止					

令和元年度の 取り組み	成果
	・人口減社会に入り、駅周辺の自転車駐車場の整理統合を進め駅南北自転車駐車場の利用者増を図った。 ・防災訓練、防災講演会等により町民の防災意識の啓発を行った。特に、防災における地域のリーダーとなる防災指導員については定期的な研修を行い地域防災力の強化に努めた。 ・防災行政無線の老朽化に伴う更新工事を行い、安定的な防災行政無線の運用を図ることと、難聴地域対策としての電話サービスやメール配信の普及啓発に努めた。
	課題
	① 駅周辺の更なる自転車駐車場の整理統合 ② 更なる地域防災力の強化 ③ 防災行政無線における難聴地域対策
	改善点(課題番号に対応)
	① 今後の更なる人口減社会を見据え、臨時自転車置き場等の整理統合を図る。 ② 地域防災マニュアルの全地区策定や防災指導員の指導・育成など更なる地域防災力の向上に努める。 ③ 難聴地域対策として現在進めている対策の他に情報提供の多重化の検討を行う。

2次評価（施策主管部長）

施策主管部長

政策総務部長

重要業績評価指標 (KPI)について	指標名 地区防災マニュアルの策定																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>0地区</td> <td>1地区</td> <td>4地区</td> <td>17地区</td> <td>20地区策定</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	H28	H29	H30	R1	目標値	—	0地区	1地区	4地区	17地区	20地区策定					
	基準値	H28	H29	H30	R1	目標値												
	—	0地区	1地区	4地区	17地区	20地区策定												
	達成状況に関する分析																	
	地区防災マニュアルについては17地区において策定ができた。残る3地区についても個別の対応を行い、先進地区の事例紹介等により全地区策定に向けた促進を図っている。																	
	<input type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 目標値の見直し <input type="checkbox"/> 指標の見直し																	
	「目標値の見直し」もしくは「指標の見直し」を選んだ場合の見直し案																	
	指標名 防災・減災まちづくりに対する町民の評価（加重平均）																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.42</td> <td>0.52</td> <td>0.35</td> <td>0.33</td> <td>0.44</td> <td>0.50以上</td> </tr> <tr> <td>H28アンケート</td> <td>H29アンケート</td> <td>H30アンケート</td> <td>H31アンケート</td> <td>R2アンケート</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	基準値	H28	H29	H30	R1	目標値	0.42	0.52	0.35	0.33	0.44	0.50以上	H28アンケート	H29アンケート	H30アンケート	H31アンケート	R2アンケート
基準値	H28	H29	H30	R1	目標値													
0.42	0.52	0.35	0.33	0.44	0.50以上													
H28アンケート	H29アンケート	H30アンケート	H31アンケート	R2アンケート														
達成状況に関する分析																		
昨今の風水害の発生等により町民の防災意識が高まる中、適格な情報提供や避難所開設における地域との連携等、地域を軸とした防災・減災体制の取組みを行ってきた。																		
<input type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 目標値の見直し <input type="checkbox"/> 指標の見直し																		
「目標値の見直し」もしくは「指標の見直し」を選んだ場合の見直し案																		

2次評価	地域の力で災害に強いまちづくりプロジェクト の成果について	
	<input checked="" type="checkbox"/> KPI達成に有効であった	<input type="checkbox"/> KPI達成に有効とは言えない
	説明	
	地域や関係団体と連携をした様々な活動が、地域における防災力の向上の促進につながっている。	
	施策： 災害や犯罪に備える地域づくり の成果について	
	<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった	<input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった
<input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった	

外部評価（二宮町政策評価委員会）

事業効果について	<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった	<input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった
	<input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった
意見	<p>施策「災害や犯罪に備える地域づくり」について、目標達成に向けた進捗は、事業開始前より前進しているがKPI達成状況などは芳しくないため、施策の一部改善を含め、さらに力強く推進する必要がある。</p> <p>地区防災マニュアルの策定状況や駅周辺環境など、取り組みが進んでいることは評価ができる。</p> <p>町民の防災意識は高まりつつあるものの、まだまだ温度差は大きいと考える。町民の行動を促す意識改革や防災意識向上に資する取り組みを着実に進めるとともに、町の防災対策に関する広報を強化することが重要である。</p> <p>今後も、新型コロナウイルス感染症を含め、様々な災害等の危機が迫ることが想定されるため、必要に応じた対応を迅速に取り組む必要がある。</p> <p>安心・安全は、暮らしやすい魅力的なまちづくりを進めるうえで非常に重要であるため、今後とも工夫をしながら進めることを期待する。</p>	

二宮町総合戦略評価シート（令和元年度実績）

基本目標	二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくる
施策	「にのみやLife」の提案と発信

1次評価（プロジェクト推進担当課長）

プロジェクト担当課長	地域政策課長
------------	--------

プロジェクト	「にのみやLife」プロモーションプロジェクト		該当予算 事業数	良好	適当	不良	
実施計画事業	01	にのみやLifeプロモーション事業	1		1		
	02	広報活動事業	1	1			

1次評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進	<input type="checkbox"/> 見直し（要改善）	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
------	--	-----------------------------------	--------------------------------

令和元年度の 取り組み	成果	「にのみやLife」シティプロモーション戦略に基づき、移住促進を目的とする事業を展開し、人口の社会増など一定の効果が得られた。					
	課題	情報発信の主な手法である広報紙およびホームページについて今後も内容の向上が求められる。					
	改善点(課題番号に対応)	情報発信力の強化として、読みやすく閲覧のしやすい広報紙およびホームページの作成・構成に努めたい。					

プロジェクト担当課長	都市整備課長
------------	--------

プロジェクト	空き家を活用した定住希望実現プロジェクト		該当予算 事業数	良好	適当	不良	
実施計画事業	01	空家等対策推進事業	1		1		
	02	住環境向上支援事業	1		1		
	03	耐震相談・診断事業	1		1		

1次評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進	<input type="checkbox"/> 見直し（要改善）	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
------	--	-----------------------------------	--------------------------------

令和元年度の 取り組み	成果	<ul style="list-style-type: none"> 空家等対策協議会・特定空家等審査会の実施 特定空家等を1件認定 耐震診断補助・耐震改修補助・無料耐震相談会の実施 ブロック塀撤去工事費補助の実施 					
	課題	耐震診断や改修、ブロック塀撤去補助の実績が低い。					
	改善点(課題番号に対応)	固定資産税納税通知書に補助制度チラシを同封、及び該当家屋にポスティング個別訪問を実施し周知を図る。また、ブロック塀撤去補助については、補助対象の見直しを検討する。					

プロジェクト担当課長	都市整備課長
------------	--------

プロジェクト	親・子・孫の同居・近居実現プロジェクト		該当予算 事業数	良好	適当	不良	
実施計画事業	01	住環境向上支援事業	1		1		

1次評価	<input type="checkbox"/> 継続推進	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し（要改善）	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
------	-------------------------------	--	--------------------------------

令和元年度の 取り組み	成果	住宅リフォーム、空き家リフォーム、同居・近居リフォーム、同居・近居に伴う住宅取得、三世帯同居補助を実施					
	課題	同居・近居助成制度の利用実績が低く、制度を見直しする必要がある。					
	改善点(課題番号に対応)	住宅リフォーム等助成制度は令和元年度で終了したため、今後のあり方を検討していく。					

重要業績評価指標 (KPI)について	指標名 「にのみやLife」 PRのHPの閲覧数					
	基準値	H28	H29	H30	R1	目標値
	14,451	40,584	46,423	37,754	36,323	基準値の4倍
	達成状況に関する分析					
	平成28、29年度は閲覧数が順調に伸びたが、平成30、31年度は減少に転じている。ホームページリニューアル後は、興味もあり新たな閲覧者を獲得することができたが、継続して閲覧してもらうことに繋がらなかった。					
	<input type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 目標値の見直し <input type="checkbox"/> 指標の見直し					
	「目標値の見直し」もしくは「指標の見直し」を選んだ場合の見直し案					
	指標名 空き家バンクに登録された空き家（空き地を含む）の利活用件数					
	基準値	H28	H29	H30	R1	目標値
	-	1件	1件	1件	0件	5件
達成状況に関する分析						
バンク登録に向けた動きがあったものの、利活用に繋がらなかった。						
<input type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 目標値の見直し <input type="checkbox"/> 指標の見直し						
「目標値の見直し」もしくは「指標の見直し」を選んだ場合の見直し案						
2次評価	「にのみやLife」プロモーションプロジェクト					の成果について
	<input checked="" type="checkbox"/> KPI達成に有効であった <input type="checkbox"/> KPI達成に有効とは言えない					
	説明					
	一時的には閲覧数が伸びており、KPI達成に寄与するプロジェクトであると評価できるが、持続性を持った取り組みとすることができなかった。					
	空き家を活用した定住希望実現プロジェクト					の成果について
	<input checked="" type="checkbox"/> KPI達成に有効であった <input type="checkbox"/> KPI達成に有効とは言えない					
	説明					
	バンクを通じて、空き家の問い合わせが増加している。					
	親・子・孫の同居・近居実現プロジェクト					の成果について
	<input checked="" type="checkbox"/> KPI達成に有効であった <input type="checkbox"/> KPI達成に有効とは言えない					
説明						
二宮町に在住の親との同居、近居について検討するきっかけになった。						
施策： 「にのみやLife」の提案と発信					の成果について	
<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった <input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった						
<input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった						

外部評価（二宮町政策評価委員会）

事業効果について	<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった	<input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった
意見	<input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった	
	<p> 施策「「にのみやLife」の提案と発信」について、目標達成に向けた進捗は、事業開始前より前進しているがKPI達成状況などは芳しくないため、施策の一部改善を含め、さらに力強く推進する必要がある。 「にのみやLife」のHP閲覧数が減少しているため、原因をしっかりと分析し、効果的な対策を打ち出す必要がある。なお、分析時は、転入者（転入希望者）が求める町の良さと町の取り組みの方向性が合致しているのかという視点も、改めて意識する必要がある。 空家対策等の取り組みは、防犯・防災・移住などにも関連するため、横断的な連携により効果的に事業を推進するとともに、情報発信を強化する必要がある。 コロナ禍で加速する地方移住の流れにより変化の兆しが見えてきているため、そのニーズを的確に捉え、今後、町としての取り組みを強く打ち出すことを期待する。 なお、KPIについては、施策の進捗を判断するものとしては限定的であるため、町が求める方向性や町全体の動きがわかる指標を追加するべきである。 </p>	

二宮町総合戦略評価シート（令和元年度実績）

基本目標	二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくる
施策	二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり

1次評価（プロジェクト推進担当課長）		プロジェクト担当課長	生涯学習課長			
プロジェクト	みんなの二宮を知ろう・学ぼうプロジェクト	該当予算 事業数	良好	適当	不良	
実施計画事業	01 「にのみやLife」全国展開シティプロモーション事業	1		1		
	02 観光まちづくり推進事業	1		1		
	03 緑化推進事業	1		1		
	04 「農」のある暮らし推進事業	2		2		
	05 水産振興事業	1		1		
	06 生涯学習振興事業	1		1		
	07 青少年育成支援事業	2		2		
	08 家庭・地域・学校の協力連携事業	1		1		
	09 文化振興事業	1		1		
	10 ふるさと教育推進事業	2		2		
1次評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 見直し（要改善） <input type="checkbox"/> 休止・廃止					
令和元年度の 取り組み	成果 各種事業を通じて、町の多様な自然環境や歴史・文化等の地域資源に関する情報を発信するとともに、その魅力を体験してもらうことができた。また、にのみや町民大学や町文化祭など、町民が主体となって運営している事業もあり、町民一人ひとりの「まちづくりの力」が着実に培われつつある。					
	課題 ①各事業に携わる人材、関係団体の高齢化が進んでいる。新たな担い手の発掘、育成が必要。					
	改善点(課題番号に対応)					
	①各事業に携わる方の負担軽減の観点から、各事業のあり方について、現在の地域の実情にあった見直しを進める。					

		プロジェクト担当課長	生涯学習課長			
プロジェクト	生涯学習センター・ラディアンの交流拠点化プロジェクト	該当予算 事業数	良好	適当	不良	
	01 公有財産管理運営事業	3	1	2		
	02 公園整備・管理事業	1		1		
	03 生涯学習振興事業	1		1		
	04 文化振興事業	1		1		
1次評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 見直し（要改善） <input type="checkbox"/> 休止・廃止					
令和元年度の 取り組み	成果 ラディアン、図書館ともに幅広い年代の方が利用しており、名実ともに町の文化交流拠点として活用されている。公園施設についても、適切な運営管理に努めている。					
	課題 ①開館20年を迎え、設備等の老朽化が進んでいるラディアン、図書館について、長寿命化を視野に入れた改修が必要。 ②施設の利用法や図書の貸出方法等、新しい生活様式への対応強化が必要。					
	改善点(課題番号に対応)					
	①令和2年度のラディアン長寿命化計画に基づき、修繕を行う。 ②国や県の指針をもとに、施設の利用制限等を検討するとともに、図書のインターネット予約、講座のネット配信等の研究を進める。					

2次評価（施策主管部長）

施策主管部長

教育部長

重要業績評価指標 (KPI)について	指標名 生涯センター・ラディアンの施設稼働率					
	基準値	H28	H29	H30	R1	目標値
	54.0%	55.1%	55.2%	51.5%	50.2%	60%
	達成状況に関する分析					
	新型コロナウイルスの影響もあり伸びていないが、大きな減少にはなっていない。交流拠点として感染症を防ぎつつ安全安心に活用していただける施設運営が必要。					
	<input type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 目標値の見直し <input type="checkbox"/> 指標の見直し					
	「目標値の見直し」もしくは「指標の見直し」を選んだ場合の見直し案					
	指標名 図書館の来館者数					
	基準値	H28	H29	H30	R1	目標値
	217,925人	213,555人	212,004人	174,944人	147,764人	240,000人
	達成状況に関する分析					
	新型コロナウイルスの影響もあり減少している。今後の状況を考えると目標値については検討が必要。					
	<input type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 目標値の見直し <input type="checkbox"/> 指標の見直し					
	「目標値の見直し」もしくは「指標の見直し」を選んだ場合の見直し案					
	指標名 文化・芸術活動に対する評価（加重平均）					
基準値	H28	H29	H30	R1	目標値	
0.04	0.08 H29アンケート	0.01 H30アンケート	-0.19 H31アンケート	-0.13 R2アンケート	0.50以上	
達成状況に関する分析						
前年よりわずかに上がったものの、地域文化の振興として取り組んでいるものが町民には届いていないことが考えられる。目的を整理し、手法等を再考する必要がある。						
<input type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 目標値の見直し <input type="checkbox"/> 指標の見直し						
「目標値の見直し」もしくは「指標の見直し」を選んだ場合の見直し案						
2次評価	みんなの二宮を知ろう・学ぼうプロジェクト の成果について					
	<input type="checkbox"/> KPI達成に有効であった <input checked="" type="checkbox"/> KPI達成に有効とは言えない					
	説明					
	新型コロナウイルスの影響もあるが、KPIの伸びに結び付いていない。ニーズの再確認など提供する内容の検討が必要と考える。					
	生涯学習センター・ラディアンの交流拠点化プロジェクト の成果について					
	<input type="checkbox"/> KPI達成に有効であった <input checked="" type="checkbox"/> KPI達成に有効とは言えない					
	説明					
施設の管理・運営については適切に行われてるものの、KPIの伸びに結び付いていない。ニーズの再確認など提供する内容の検討が必要と考える。						
施策： 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり の成果について						
<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった <input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった						
<input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった						

外部評価（二宮町政策評価委員会）

事業効果について	<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった	<input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった
意見	<input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった <p> 施策「二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり」について、目標達成に向けた進捗は、事業開始前より前進しているがKPI達成状況などは芳しくないため、施策の一部改善を含め、さらに力強く推進する必要がある。 今後、人口減少等により財政的な制限もあるため、ソフト事業に軸足を移し、効果的に事業を推進することが求められる。ラディアンや図書館は、活用事例を紹介するなどの具体策を提案することで、利用率向上につなげるとともに、町民等に取り組みを認知してもらえよう効果的な広報活動も併せて進める必要がある。 イベント等の開催については、団体の役員等の負担も見受けられるため、持続可能な事業とするためには、統廃合も含め、イベントのあり方について全体的に見直す必要がある。 新型コロナウイルスの影響により、事業を中止せざるを得ない状況もあるが、様々な状況を想定し、臨機応変に対応できる方向性を打ち出していくことも重要である。 </p>	

二宮町総合戦略評価シート（令和元年度実績）

基本目標	二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくる
施策	特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成

1次評価（プロジェクト推進担当課長）

プロジェクト担当課長

教育総務課長

プロジェクト	子どもたちの「生きる力」創造プロジェクト		該当予算 事業数	良好	適当	不良	
	01	コミュニティ・スクール推進事業	1		1		
	02	支援教育推進事業	1	1			
	03	教育相談・教育支援室事業	1	1			

1次評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進	<input type="checkbox"/> 見直し（要改善）	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
------	--	-----------------------------------	--------------------------------

令和元年度の 取り組み	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクール推進事業については、一色小を除く4校も学校運営協議会を立ち上げ、すべての学校がコミュニティ・スクールとなった。 ・支援教育推進事業については、引き続き支援教育補助員を配置し、多様化する児童生徒のニーズへの対応ができた。 ・教育相談・教育支援室事業については、スクールソーシャルワーカーが対応できる曜日を増やしたことで、より柔軟な対応ができた。
	課題	<p>①すべての学校がコミュニティ・スクールとなり、それぞれの課題やニーズに沿った独自の取り組みを進める中、相互の情報共有が必要となっている。</p> <p>②児童生徒が抱える課題や相談内容が多様化する中、スクールソーシャルワーカーや心理教育相談員、支援教育補助員など、一人ひとりのニーズに沿ったきめ細やかな支援を実施するための人材が不足している。</p>
	改善点(課題番号に対応)	<p>①各校の学校運営協議会長と学校長を一堂に会した情報交換会を設置したことで、相互の情報共有を図ることができた。</p> <p>②令和2年度より、支援教育補助員の勤務時間や、スクールソーシャルワーカーの勤務日数を増加させたほか、引き続き、必要な人的配置を国・県に要望している。</p>

2次評価（施策主管部長）

施策主管部長

教育部長

重要業績評価指標 (KPI)について	指標名	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合（「当てはまる」・「どちらかといえば当てはまる」に回答）				
	基準値	H28	H29	H30	R1	目標値
	76.4%	77.0%	75.5%	77.6%	75.6%	80.0%以上
	達成状況に関する分析	目標達成には至っていないが、一定の成果が示されている。				
		<input type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 目標値の見直し <input type="checkbox"/> 指標の見直し				
		「目標値の見直し」もしくは「指標の見直し」を選んだ場合の見直し案				
	指標名	これからも運動を続けたいと思う児童生徒の割合				
	基準値	H28	H29	H30	R1	目標値
	60.1%	67.6%	71.0%	71.8%	71.0%	70.0%以上
	達成状況に関する分析	目標値に達しているの見直しが必要である。				
	<input type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 目標値の見直し <input type="checkbox"/> 指標の見直し					
	「目標値の見直し」もしくは「指標の見直し」を選んだ場合の見直し案					
2次評価	子どもたちの「生きる力」創造プロジェクト	の成果について				
		<input checked="" type="checkbox"/> KPI達成に有効であった <input type="checkbox"/> KPI達成に有効とは言えない				
	説明	さらに高い目標をめざすためKPIの目標値を見直したことにより達成できていない部分はあるが、一定の成果は示している。				
	施策	特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成 の成果について				
		<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった <input type="checkbox"/> 地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった				

外部評価（二宮町政策評価委員会）

事業効果について	<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった <input type="checkbox"/> 地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった
意見	<p>施策「特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成」について、目標達成に向けた進捗は概ね順調ではあるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある。</p> <p>町内5校すべてでコミュニティ・スクールが立ち上がり、情報の共有化が進められていることは評価ができる。</p> <p>今後のコミュニティ・スクールの運営において、いかに地域力を取り入れられるかが重要となるため、必要な人材や予算の確保も含め、今後のあり方を検討していく必要がある。また、各コミュニティ・スクールの地域の違いはあるものの、共通する課題もあるため、情報共有を図り、効率的な運営につなげることが重要である。</p> <p>教育支援・相談は、専門的な職員の配置を国や県等に要望しつつも、町として支援できるものはしっかりと押し進める必要がある。また、支援には、学校（専門職含む）、児童生徒、保護者等との連携が不可欠なことから、支援体制及び情報共有を強化するとともに、支援を必要とする児童生徒の保護者に、支援情報が伝わるように周知を促進する必要がある。</p> <p>コミュニティ・スクールは、町の特色ある学校教育に資する取組であるため、引き続き推進するとともに、今後、町の魅力として積極的に情報発信することが重要である。</p>

二宮町総合戦略評価シート（令和元年度実績）

基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶え、子育てを楽しめる環境をつくる
施策	子育て世代を見守り、支えるための妊娠期、出産期、育児期における切れ目ない支援と環境づくり

1次評価（プロジェクト推進担当課長）

プロジェクト		子ども・子育て家庭への切れ目ない支援実現プロジェクト		プロジェクト担当課長		子育て・健康課長				
				該当予算 事業数	良好	適当	不良			
実施計画事業	01	子育て世代包括支援センター		2	2				/	
	02	地域医療連携推進事業		1		1			/	
	03	要支援児童への対応		1	1				/	
1次評価		<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 見直し（要改善） <input type="checkbox"/> 休止・廃止								
令和元年度の 取り組み		成 果								
		・母子保健事業と児童相談を「にのはぐ」で実施し、切れ目のない支援や早期対応を行った。								
		課 題								
		①児童相談や発達相談など長期に渡り関わりを持つケースが増えている。 ②発達支援事業など多様化するニーズへの対応。								
		改善点(課題番号に対応)								
①専門職の配置体制の検討 ②早期療育や相談支援の検討										

プロジェクト		子どもを安心して預けることのできる保育・子どもの居場所づくりプロジェクト		プロジェクト担当課長		子育て・健康課長				
				該当予算 事業数	良好	適当	不良			
実施計画事業	01	保育サービス充実事業		3		3			/	
	02	地域子育て推進事業		2	2				/	
	03	子育て家庭への支援		1	1				/	
	04	放課後児童対策事業		1	1				/	
	05	家庭・地域・学校の協力連携事業		1		1			/	
1次評価		<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 見直し（要改善） <input type="checkbox"/> 休止・廃止								
令和元年度の 取り組み		成 果								
		・第2期子ども・子育て支援事業計画の策定 ・中里子育てサロンの開設及び子育てサロン・一時預かり事業の民間委託開始 ・民間学童保育所「中里キッズクラブ」の開所 ・認可保育所「みちる愛児園中里ナーサリー」の開所 ・幼児教育・保育の無償化の開始								
		課 題								
		①保育士、学童の支援員、ファミサポのまかせて会員の確保								
		改善点(課題番号に対応)								
①保育士等の確保方策の検討										

2次評価（施策主管部長）

施策主管部長

健康福祉部長

重要業績評価指標 (KPI)について	指標名 子育て環境に対する町民の評価（加重平均）					
	基準値	H28	H29	H30	R1	目標値
	0.18	0.30 H29アンケート	0.21 H30アンケート	0.00 H31アンケート	0.25 R2アンケート	0.50以上
	達成状況に関する分析					
	町民の評価は上昇したものの、目標値には届いていないことから、引き続き取り組みが必要である。					
	<input type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 目標値の見直し <input type="checkbox"/> 指標の見直し					
	「目標値の見直し」もしくは「指標の見直し」を選んだ場合の見直し案					
	指標名 年少人口割合					
	基準値	H28	H29	H30	R1	目標値
	10.7%	10.8%	10.7%	10.5%	10.5%	10.2%
	達成状況に関する分析					
	目標値は達成したものの、年少人口割合は少子高齢化の中で減少傾向であり、継続した取り組みが必要である。					
	<input type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 目標値の見直し <input type="checkbox"/> 指標の見直し					
	「目標値の見直し」もしくは「指標の見直し」を選んだ場合の見直し案					
	指標名 待機児童数					
基準値	H28	H29	H30	R1	目標値	
10人	5人	1人	0人	2人	0人	
達成状況に関する分析						
待機児童は平成31年4月時点で0人となったものの、令和2年4月には2人となり、目標値を達成できなかったことから、更なる取り組みが必要である。						
<input type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 目標値の見直し <input type="checkbox"/> 指標の見直し						
「目標値の見直し」もしくは「指標の見直し」を選んだ場合の見直し案						
2次評価	子ども・子育て家庭への切れ目ない支援実現プロジェクト					の成果について
	<input checked="" type="checkbox"/> KPI達成に有効であった <input type="checkbox"/> KPI達成に有効とは言えない					
	説明					
	子育て世代包括支援センター「にのはぐ」における母子保健事業や児童相談により、妊娠、出産から育児期まで、切れ目のない支援を進めることができた。					
	子どもを安心して預けることのできる保育・子どもの居場所づくりプロジェクト					の成果について
	<input checked="" type="checkbox"/> KPI達成に有効であった <input type="checkbox"/> KPI達成に有効とは言えない					
	説明					
	民間保育所や民間学童保育所の開設、子育てサロンや一時預かりの民間委託、幼児教育・保育の無償化など子育て環境の整備を推進した。					
	施策： 子育て世代を見守り、支えるための妊娠期、出産期、育児期における切れ目ない支援と環境づくり					
	<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった <input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった					
<input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった						

外部評価（二宮町政策評価委員会）

事業効果について	<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった <input type="checkbox"/> 地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった
意見	<p>施策「子育て世代を見守り、支えるための妊娠期、出産期、育児期における切れ目ない支援と環境づくり」について、目標達成に向けた進捗は概ね順調ではあるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある。</p> <p>KPIは目標値を達成しなかったものの、学童や保育所などの取り組みの進展は確認できるため、一定の評価ができる。ただし、KPIの数値や取り組みの課題を多角的に分析し、課題に対する明確な解決策を打ち出す必要がある。</p> <p>子育て環境の充実は若い世代への有効な施策になるため、関係者との連携・協力により支援体制を強化し、切れ目のない支援を継続する必要がある。また、支援やサービスを必要とする保護者に支援が行き渡るように、情報提供をきめ細やかに行うことが重要である。</p>

二宮町総合戦略評価シート（令和元年度実績）

基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶え、子育てを楽しめる環境をつくる
施策	子育てと仕事の両立の推進

1次評価（プロジェクト推進担当課長）

プロジェクト担当課長	地域政策課長
------------	--------

プロジェクト	子育て世代のワーク・ライフ・バランス実現プロジェクト	該当予算事業数	良好	適当	不良	
実施計画事業	01 子育て家庭への支援	1	1			
	02 生涯学習振興事業	1		1		
	03 人権啓発活動事業	1		1		

1次評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 見直し（要改善） <input type="checkbox"/> 休止・廃止
------	---

令和元年度の取り組み	成果	働く女性にスポットを当てた男女共同参画フォーラムを実施した。
	課題	男女共同参画社会の実現に向けた啓発事業の手法を検討する。
	改善点(課題番号に対応)	毎年実施していた男女共同参画フォーラムについてのアンケートを行い、今後の展開についての方向性を検討する。

2次評価（施策主管部長）

施策主管部長	政策担当部長
--------	--------

重要業績評価指標（KPI）について	指標名 女性の就業率（25～44歳）					
	基準値	H28	H29	H30	R1	目標値
	65.40%	—	—	—	—	70.3%以上
	達成状況に関する分析					
	<input type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 目標値の見直し <input type="checkbox"/> 指標の見直し					
	「目標値の見直し」もしくは「指標の見直し」を選んだ場合の見直し案					
	指標名 男性の家事・育児時間					
	基準値	H28	H29	H30	R1	目標値
	1時間21分	1時間16分 H29アンケート	1時間32分 H30アンケート	1時間26分 H31アンケート	1時間22分 R2アンケート	2時間以上
	達成状況に関する分析					
	毎年異なる対象者にアンケートを実施しており、KPIの値の変化を追うことはできないが、目標達成には至っていない。					
	<input type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 目標値の見直し <input type="checkbox"/> 指標の見直し					
	「目標値の見直し」もしくは「指標の見直し」を選んだ場合の見直し案					
	指標名 役場男性職員の育児休業取得割合					
	基準値	H28	H29	H30	R1	目標値
0%	10%	12.5%	8.0%	0%	50%	
達成状況に関する分析						
役場内でも、男性職員が育児休暇を取得する機運は醸成できていない。						
<input type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 目標値の見直し <input type="checkbox"/> 指標の見直し						
「目標値の見直し」もしくは「指標の見直し」を選んだ場合の見直し案						

2次評価	子育て世代のワーク・ライフ・バランス実現プロジェクト の成果について	
	<input type="checkbox"/> KPI達成に有効であった	<input checked="" type="checkbox"/> KPI達成に有効とは言えない
	説明	
	KPIが達成（改善）されておらず、有効とは言えない。	
	施策： 子育てと仕事の両立の推進 の成果について	
	<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった	<input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった
<input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった	

外部評価（二宮町政策評価委員会）

事業効果について	<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった	<input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった
	<input type="checkbox"/> 地方創生に効果があった	<input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった
意見	<p>施策「子育てと仕事の両立の推進」について、目標達成に向けた進捗は、KPIの設定に課題があり、施策の進捗をこのKPIだけで判断することは困難である。</p> <p>しっかりと子育て世代のニーズを分析したうえで、効果的な取り組みとなるよう見直す必要がある。</p> <p>本施策は、KPIの設定や進捗が芳しくないことも課題ではあるが、前提となる基本目標と施策の関連性が非常に分かりづらく、取り組みの設定が適切とは言い難い。</p>	

二宮町総合戦略評価シート（令和元年度実績）

基本目標	二宮町で安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくる
施策	地域にしごとを生み出し、資金を循環させるしくみづくり

1次評価（プロジェクト推進担当課長）

プロジェクト担当課長	産業振興課長
------------	--------

プロジェクト	二宮町での起業・開業支援プロジェクト	該当予算 事業数	良好	適当	不良	
実施計画事業	01 商工業振興対策事業	1		1		
1次評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 見直し（要改善） <input type="checkbox"/> 休止・廃止					
令和元年度の 取り組み	成 果					
	<ul style="list-style-type: none"> ・創業支援事業計画に位置付けている創業相談セミナー（創業塾）を実施し、一定の受講者の確保に繋がった。また創業相談窓口の設置等の創業者支援事業を実施した（町、商工会、金融機関） ・創業者が利用できる融資制度や融資に伴う利子補助の制度を創設した。 					
	課 題					
	①創業相談セミナーの受講内容の充実 ②創業者融資制度の活用向上					
改善点(課題番号に対応)						
①創業者ニーズの把握に努め受講内容を検討する。 ②融資制度の拡充等を含め検討し、制度活用の向上を図り、創業者の促進に努める。						

2次評価（施策主管部長）

施策主管部長	都市部長
--------	------

重要業績評価指標 (KPI)について	指標名 町内起業・開業件数（商工会加入件数）					
	基準値	H28	H29	H30	R1	目標値
	—	12件 (加入件数22件)	8件/累計20件 (加入件数16件)	8件/累計28件 (加入件数22件)	9件/累計37件 (加入件数22件)	35件以上（累計）
	達成状況に関する分析					
	創業相談会に参加した方に対して、伴走型の支援を展開することによって開業を促進した。					
<input type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 目標値の見直し <input type="checkbox"/> 指標の見直し						
「目標値の見直し」もしくは「指標の見直し」を選んだ場合の見直し案						
2次評価	二宮町での起業・開業支援プロジェクト の成果について					
	<input checked="" type="checkbox"/> KPI達成に有効であった <input type="checkbox"/> KPI達成に有効とは言えない					
	説明					
	起業・開業者の実績が徐々に積みあがっている。					
	施策： 地域にしごとを生み出し、資金を循環させるしくみづくり の成果について					
<input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった <input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった <input type="checkbox"/> 地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった						

外部評価（二宮町政策評価委員会）

事業効果について	<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった	<input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった
	<input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった
意見	<p> 施策「地域にしごとを生み出し、資金を循環させるしくみづくり」について、目標達成に向けた進捗は、事業開始前より前進しているがKPI達成状況などは芳しくないため、施策の一部改善を含め、さらに力強く推進する必要がある。 起業・開業件数の増加などの成果が見られ、商工会等とともに創業支援（相談セミナー、窓口等）を着実に推進していることは評価ができる。 すぐに成果が上がりにくい分野ではあるが、商工会等と連携をさらに深め、まずは成果が出始めている「仕事を生み出す」という基盤づくりに注力し、着実に推進していくことが重要である。 新型コロナウイルスの影響により大変厳しい状況ではあるが、活気づき始めた兆しを途切れさせることなく、活力ある魅力あるまちにつなげるために、時代に合った支援策を取り入れながら、創業前から創業後に至るまで、切れ目のない伴走支援に取り組むことを期待する。 </p>	

二宮町総合戦略評価シート（令和元年度実績）

基本目標	二宮町で安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくる
施策	町の環境を活かした再生可能エネルギーの地産地消等の可能性検討

1次評価（プロジェクト推進担当課長）

プロジェクト推進担当課長			プロジェクト担当課長				生活環境課長				
プロジェクト	再生可能エネルギー事業の起業支援プロジェクト			該当予算 事業数	良好	適当	不良	/			
実施計画事業	01	地球環境保全事業		1		1		/			
1次評価	<input type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 見直し（要改善） <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止										
令和元年度の 取り組み	成果 ・KPIに設定した町内民間事業者による再生可能エネルギー事業の導入促進が効果的と考えられる起業支援策（5施策）のうち、平成30年度までに達成できていなかった残り3施策について、実現（実施）に向けて関係部署との調整を進めた。 ・5施策のうち4施策（「再生可能エネルギー事業事業化の支援（省エネ診断）」、「再生可能エネルギー発電設備に係る課税標準の特例措置（わがまち特例）」、「国・県支援策の情報発信」、「中小企業金融対策資金」）については、令和元年度までに実現（実施）した。										
	課題 「地産地消の促進（行政による積極的な地域電力エネルギーの導入）」については、コスト面等から現状、実現が困難である。										
	改善点（課題番号に対応）										
	「電力調達に係る環境配慮実施要領」の改定を含む、内容のあり方について検討するよう財務課に働きかけを行う。										

2次評価（施策主管部長）

施策主管部長						都市部長						
重要業績評価指標 (KPI)について	指標名 再生可能エネルギー事業に関する起業支援策の実現数											
	基準値	H28	H29	H30	R1	目標値						
	—	—	—	2	4	5 施策						
	達成状況に関する分析 達成に向けて、積み増しを行うことができた。											
	<input type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 目標値の見直し <input type="checkbox"/> 指標の見直し											
「目標値の見直し」もしくは「指標の見直し」を選んだ場合の見直し案												
2次評価	再生可能エネルギー事業の起業支援プロジェクトの成果について											
	<input checked="" type="checkbox"/> KPI達成に有効であった <input type="checkbox"/> KPI達成に有効とは言えない											
	説明 再生可能エネルギー事業の導入促進について、一定の成果を得ている。											
	施策： 町の環境を活かした再生可能エネルギーの地産地消等の可能性検討 の成果について											
	<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった						<input type="checkbox"/> 地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった					

外部評価（二宮町政策評価委員会）

事業効果について	<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった <input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった
意見	<p>施策「町の環境を活かした再生可能エネルギーの地産地消等の可能性検討」について、目標達成に向けた進捗は、事業開始前より前進しているがKPI達成状況などは芳しくないため、施策の一部改善を含め、さらに力強く推進する必要がある。</p> <p>時代に即した分野ではあるが、町規模で出来ることが限られることや、基本目標の方向性との関連性が低いことから、施策の位置づけを再考することが望ましい。</p> <p>取り組み自体は、実態が見えづらいものの、KPI の達成状況から前進していると評価できる。</p>

二宮町総合戦略評価シート（令和元年度実績）

基本目標	二宮町で安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくる
施策	身近な地域で働く希望を叶えるための雇用創出

1次評価（プロジェクト推進担当課長）

1次評価（プロジェクト推進担当課長）		プロジェクト担当課長	産業振興課長			
プロジェクト	二宮で働きたい人の就業応援プロジェクト	該当予算 事業数	良好	適当	不良	
実施計画事業	01 商工業振興対策事業	1		1		
	02 中小企業金融対策事業	1		1		
1次評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 見直し（要改善） <input type="checkbox"/> 休止・廃止					
令和元年度の 取り組み	成果					
	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣市町等と連携し、企業合同就職面接会を実施した。 ・関係機関が発行する就業関係チラシを配架し、制度周知を行った。 					
	課題					
	①企業合同就職面接会等は町単独での開催困難					
改善点(課題番号に対応)						
①近隣自治体と連携を図り、開催に向けて協力体制を構築する。						

1次評価（プロジェクト推進担当課長）		プロジェクト担当課長	産業振興課長			
プロジェクト	就農・地産地消応援プロジェクト	該当予算 事業数	良好	適当	不良	
実施計画事業	01 農業振興事業	1		1		
	02 遊休・荒廃農地対策事業	1		1		
	03 特産物普及奨励事業	1		1		
1次評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 見直し（要改善） <input type="checkbox"/> 休止・廃止					
令和元年度の 取り組み	成果					
	<ul style="list-style-type: none"> ・町遊休荒廃農地対策補助金を活用し、荒廃地の解消が行われた。 ・特産品であるオリーブや落花生関連商品が二宮ブランドに認定される等、普及奨励を図った。 ・新規就農者要件である研修期間を緩和し、新たな就農者の促進を行った。 					
	課題					
	①荒廃地対策を推進するため、補助制度や農地中間管理事業等の周知が必要 ②オリーブの地域ブランド化の確立 ③オリーブの生産量向上が必要					
改善点(課題番号に対応)						
①農業委員や関係機関と連携を図り、制度の周知を行う。 ②近隣市町や関係機関等と連携し、地域ブランド化を推進する。 ③オリーブ生産者の育成を強化し、生産量向上を図る。						

2次評価（施策主管部長）

施策主管部長

都市部長

重要業績評価指標 (KPI)について	指標名 二宮町における従業者数					
	基準値	H28	H29	H30	R1	目標値
	5,568人	5,495人	—	—	—	5,678人以上
	達成状況に関する分析					
	<input type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 目標値の見直し <input type="checkbox"/> 指標の見直し					
	「目標値の見直し」もしくは「指標の見直し」を選んだ場合の見直し案					
	指標名 農業参入（法人・個人）数					
	基準値	H28	H29	H30	R1	目標値
	2件	0件	1件	1件	2件	2件（人） 以上増加
	達成状況に関する分析					
地道に続けてきたことにより、事業成果を得ることができた。						
<input type="checkbox"/> 継続推進 <input type="checkbox"/> 目標値の見直し <input type="checkbox"/> 指標の見直し						
「目標値の見直し」もしくは「指標の見直し」を選んだ場合の見直し案						
2次評価	二宮で働きたい人の就業応援プロジェクト の成果について					
	<input checked="" type="checkbox"/> KPI達成に有効であった			<input type="checkbox"/> KPI達成に有効とは言えない		
	説明					
	近隣自治体と合同で就職相談会に取り組み、事業推進の一助となった。					
	就農・地産地消応援プロジェクト の成果について					
	<input checked="" type="checkbox"/> KPI達成に有効であった			<input type="checkbox"/> KPI達成に有効とは言えない		
	説明					
	大幅な実績を残すことは難しいものの、継続的に事業推進することで成果につながった。					
施策： 身近な地域で働く希望を叶えるための雇用創出 の成果について						
<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった			<input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった			
<input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に効果があった			<input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった			

外部評価（二宮町政策評価委員会）

事業効果について	<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった		<input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった	
	<input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に効果があった		<input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった	
意見	<p>施策「身近な地域で働く希望を叶えるための雇用創出」について、目標達成に向けた進捗は、事業開始前より前進しているがKPI達成状況などは芳しくないため、施策の一部改善を含め、さらに力強く推進する必要がある。</p> <p>施策の目標達成に向けての具体策が乏しく魅力に欠けるため、町内の産業、農業等の動向などを注視したうえで、町の規模にあった必要かつ魅力的な支援策を検討するとともに、選択と集中により事業を効率的に推進する必要がある。</p> <p>また、地域ブランドや合同面接会等の取り組みが見えてこないことが課題であることから、効果的な手法による情報提供を徹底する必要がある。</p>			